

令和4年度 全国獣医師会事務・事業推進会議の開催

I 日時：令和4年7月15日（金） 14:30～17:30

II 場所：都市センターホテル

III 出席者：

1 全国54都道府県市獣医師会担当役員・事務局職員
（対面参加18、WEB参加33、併用参加3、欠席1）

2 日本獣医師会

会長：藏内勇夫

副会長兼専務理事：境 政人

事務局職員：14名

IV 概要：

【開会】

日本獣医師会駒田事務局長の司会により開会され、会議が進められた。

【開会の挨拶】

藏内会長から、以下のとおり挨拶が行われた。

令和4年度全国獣医師会事務・事業推進会議の開催に当たり、ご挨拶を申し上げます。

全国の地方獣医師会の事務局の皆様方には、業務ご多忙の中、本会議にご出席をいただき、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、一昨年、昨年と書面で開催したこの会議が3年ぶりに対面で開催させていただくということで、皆様にお会いできることを期待しておりましたが、一時漸減に向かっていた新型コロナウイルス感染症の感染者数は、第7波の襲来が心配されるほど全国的に増加傾向となっています。このため、本日の会議はWEB併用といたしました。また、会議後に計画していた懇親会も中止となりましたことをおわび申し上げます。

先般開催された第79回通常総会におきましては、執行部からの提案に全てご承認をいただきました。これもひとえに日ごろから各地方獣医師会の事務を担う皆様のご尽力の賜物と考えております。深く感謝申し上げます。

また、この度の参議院議員選挙では、自民党全国比例代表候補として、医師であり、医師会の組織内候補であります自見はなこ参議院議員を獣医師連盟の組織内候補として推薦いたしました。自見参議院議員は、獣医師の臨床現場にも幅広く足を運んでくださり、われわれの仕事を理解いただいております。また、ワンヘルスについても大変造詣が深く、先の予算委員会における岸田総理への質問では、ワンヘルスを取り上げ、総理から前向きな答弁を引き出させていただきました。

われわれが10年来、国に提言してまいりました、感染症発生時には危機管理体制をもって早期に終息すべし、との対応につきましても、予算委員会終了後に岸田総理は内閣の中に危機管理庁を作ると明言されました。

こうした中で戦った選挙戦では、自見候補は前回よりも票を伸ばして見事当選されました。候補者並びに日本獣医師会役員はじめ関係の皆様方から、この結果はひとえに日本獣医師連盟のご支援の賜物であると丁寧なお礼の言葉をいただきました。われわれが抱えている課題は、政治決着を必要とする場面が多い中、自見候補はじめ全国55の地方獣医師会の推薦候補の国会議員の先生方と連携して対応してまいりたいと思います。この度の選挙における皆様方のご尽力に重ねて厚くお礼申し上げます。

ワンヘルスにつきましては、先にエルマウで行われましたG7サミットにおきましても各担当部署で論議がなされ、その重要性について認識し、国際的に取り組むことが合意されました。このことにつきましては、地方獣医師会の皆様との情報共有の下、ワンヘルスを獣医師の大切な役割として進めてまいりたいと考えております。

さて、日本獣医師会は現在、改正動物愛護法による販売用の犬・猫へのマイクロチップの装着・登録の義務化、また、愛玩動物看護師法による愛玩動物看護師の国家資格化に伴うチーム獣医療体制の構築等重要な問題を抱えています。

特に、改正動物愛護管理法における販売用犬猫へのマイクロチップの装着・登録の義務化と狂犬病予防事業とのワンストップサービスにつきましては、地方獣医師会の皆様からご意見をお聞きする中で、国会議員の先生方はじめ関係省庁に強く要望を続けてまいりましたが、残念ながら環境省から示された案には本会及び地方獣医師会が当初要望していたことが認められていないことが法施行直前になって判明いたしました。われわれはこれに強く抗議いたしました。当初環境省は全く認識がなかったわけではありますが、自民党獣医師問題議員連盟はじめ党派を問わず幅広く国会議員の先生方に要請活動を行った結果、環境省も自分たちの対応が間違っていたことを本会に伝えてきたわけです。そうした中、7月21日には、十数年ぶりに自民党獣医師問題議員連盟の総会を開催していただく運びとなりました。ここで改めてしっかりと国会議員の先生方にわれわれの考えをご説明し、環境省には先生方から伝達をいただく中で、われわれが標榜しております真に国民に貢献する制度としてのマイクロ

チップ制度、愛玩動物看護師制度、狂犬病予防法のワンストップサービス制度等を定着させてまいりたいと考えております。私たちは全力でこうした取組みを進めてまいりますので、皆様方からも忌憚のないご意見を引き続きお寄せいただきたいと思いますと考えております。

本年11月に福岡県福岡市で開催される第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会は、開催とともに私がFAVA会長に就任し、大会のテーマを「アジアからのワンヘルスアプローチ」として開催いたします。今まさに、国連、WHO、OIE、FAO、WWF等全ての国際機関がワンヘルスの推進を合意しています。アジアは感染症のホットスポットと言われる中、ワンヘルスの先進国として、先進県とされる福岡県から、アジアに広くワンヘルスの重要性を広めてまいりたいと考えております。今回は獣医学術学会年次大会も同時開催されます。ぜひ一人でも多くの方にご参加いただきますよう呼びかけをお願いいたします。

いずれにいたしましても、私ども日本獣医師会は地方獣医師会の皆様と情報を共有する、そして目的を同じくして前進を図る姿勢を堅持していきたいと考えております。ここにお集まりいただきました全国の地方獣医師会事務局の皆様は私たちの業務推進の要であります。今後ともよろしくご支援・ご指導の程お願いいたします。

本日は、十分な意見交換を行っていただき、情報共有の下、共通認識を深めることができたと考えております。本日の会議が、全国獣医師会の事務推進において意義あるものとなることを祈念し、また、長引くコロナ対策の中で、皆様のご健康を心からお祈り申し上げ、私の挨拶といたします。

【説明・報告】

以下の項目について、資料に基づき説明され、意見交換が行われた。

1 日本獣医師会説明事項

- (1) 改正動物愛護管理法における販売用犬猫に対するマイクロチップの装着・登録の義務化に関する件
- (2) 第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会及び第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会の開催に関する件
- (3) 獣医事対策等普及啓発事業
 - ア 令和4年度動物愛護週間中央行事及び2022動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”の開催
 - イ 日本獣医師会動物愛護週間関連行事褒賞事業
- (4) 獣医学術講習会研修会事業及び獣医療提供体制整備推進総合対策事業
- (5) 認定・専門獣医師制度及び農場管理専門獣医師等認定・活動支援事業の実施
- (6) 新型コロナウイルス感染症等対策
- (7) 愛玩動物看護師法の施行・運用に関する件
- (8) 獣医療証明様式提供事業
- (9) 日本獣医師会獣医師福祉共済事業
 - ア 生命共済保険事業
 - イ 獣医師賠償共済事業
- (10) 国民年金基金紹介事業
- (11) その他
 - ア 令和4年福島沖地震及びウクライナ紛争における被災動物救護等に対する支援等に関する件
 - イ 野口英世アフリカ賞に関する件
 - ウ 次期感染症サーベイランスシステム工程管理・調達支援業務

2 照会事項に対する回答

- (1) 日本獣医師会からの照会事項
 - ア 【照会-1】 狂犬病予防注射の実施対応について
 - イ 【照会-2】 会員組織率向上の取組み事例及び自治体等からの受託事業について

3 日本獣医師連盟活動報告